

平成27年度消費者教育フェスタ～高校生・大学生が取り組む消費者教育～

持続可能な社会作りの担い手となる若者が消費者教育を通して自分の未来、社会の未来について考え、消費者市民社会への主体的な参画を促すことを目的として開催

◇日時 平成27年10月18日(日)13:00～17:00

◇会場 文部科学省3階講堂

◇主催 文部科学省

◇協力 社会的責任に関する円卓会議 ◇後援 消費者庁、独立行政法人日本学生支援機構、日本消費者教育学会

◇参加者 高校生、大学生、教職員、教育委員会、消費者行政担当部局(消費生活センター)、企業・団体等から141名の参加

事例報告

●静岡大学消費生活研究サークル

主な活動である消費者教育教材の作成を通じて自分達で具体的な目標を設定すること、自ら学ぶことの重要性等を認識したことなどについて発表し、「消費者の権利と責任」の紙芝居の実演も行われた。

●兵庫県企画県民部消費生活課、生活協同組合連合会大学生協阪神事業連合、兵庫県立大学 兵庫県と大学生協が大学生のための消費者セミナーを開催。セミナーに参加した学生はヤングクリエイターとして消費者教育のワークショップを企画など広める立場となっている取組について発表。

●徳島県立徳島商業高等学校

スーパープロフェッショナルハイスクールの指定校。カンボジアの高校を支援するため、商品開発のノウハウを提供する等の活動を通じて、生産者の立場から消費者の視点を考える取組について発表。

●茨城県立神栖高等学校

学校家庭クラブ活動の取組として家庭科で学んだSNSに潜む消費者被害等について地域の小学生に寸劇出前講座を実施した取組等について発表し、オンラインゲームの課金について寸劇を披露。

【ファシリテーター】萩原なつ子氏(立教大学 教授)

【コメンテーター】上村協子氏(東京家政学院大学 教授)

清國祐二氏(香川大学生涯学習教育研究センター長)

西村隆男氏(横浜国立大学 教授)



ワークショップ

「消費者市民社会について考えるワールド・カフェ」
～一人一人が主体的に消費者教育に関わることで変わる未来～」

【ファシリテーター】萩原なつ子氏(立教大学 教授)

参加者が4～5人のテーブルに分かれて、席替えをしながら消費者市民社会の実現に向けて話し合った。ワークショップのまとめでは、消費者市民社会の実現に向けた短歌が完成。

【作品例】

手をつなぎ一人ひとりが築く未来ALLJAPANで安心安全
買い物で笑顔つながる暮らし方創り手買い手二人三脚



実践交流会

「社会的責任に関する円卓会議」の協力を得て、様々な企業や団体等消費者教育を実施する民間企業、NPO等の作成した教材、資料等を紹介。

独立行政法人国民生活センター、金融広報中央委員会、公益社団法人全国消費生活相談員協会、公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(NACS)、公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)、公益財団法人消費者教育支援センター、公益財団法人生命保険文化センター、公益財団法人日本環境協会エコマーク事務局、一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人全国銀行協会、一般社団法人日本ヒープ協議会、一般社団法人日本損害保険協会、NPO法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会、日本弁護士連合、日本労働組合総連合会、全国大学生生活協同組合連合会、千葉県消費生活相談員の会、ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社、第一生命保険株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、トヨタ自動車株式会社、三菱自動車工業株式会社、日産自動車株式会社、株式会社日清製粉グループ本社、サントリーホールディングス株式会社、フェアトレード学生ネットワーク、消費者庁、文部科学省(順不同)【28企業・団体が参加】